



社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地
TEL：0772-22-0320 ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

与謝の園国際交流会



日本人？いえ！ロックインさんです
(撮影・黒垣英樹)

国際化の波はついに与謝の園にも！...と言っても外国人の介護福祉士や看護師を受け入れたわけではありません。与謝野町の国際交流員・ロックイン・ドリパーさんから交流の申し出を受け、「与謝の園国際交流会」を開催しました。スコットランド出身のロックインさんですが、生まれは香港で顔立ちは日本人のよう。日本語もペラペラでとても親しみやすい雰囲気。今回は自己紹介も兼ねて、スコットランドの文化について講演してもらいました。

スライドショーに映し出されたスコットランドの美しい街並みに職員は興味津々。利用者の皆さんは：やっぱり異国の文化にはあまり馴染めない？感想を尋ねると「ようわからんかった：」しかしおいしそうなお食べ物の写真には目を奪われていたようです。

初めての試みでしたが異文化を学ぶ貴重な機会となりました。たとえ食べ物にしか興味がなくても、それが異文化理解の一步となるのです。次回はスコットラ

天橋の郷「たんとおあがり、京都府産」施設に認定

この度、天橋の郷は、京都府産の農産物の利用と食文化等の情報発信を意欲的に行う福祉施設として認定を受けました。お米は特Aお墨付きの丹後産コシヒカリを100%使用。地



『認定章』玄関にあります。そして大地が育てた安心・安全な食材は、身体も心も元気に幸

元の旬の野菜をふんだんに使った「手作りメニュー」と、あくまで地産地消にこだわっています。ふるさとの風や雨、水、

せにします。作った人の顔がみえる採れたての「旬」の食材は地域の宝です。天橋の郷では、これからも米や野菜だけでなく地元の魚や海産物もどんどん取り入れて、豊かな食生活を提供し、高齢者の暮らしを支えていきたいと願っています。
(水谷 暁)

ンドのお菓子作りで交流する予定です。
(小田 晋)

小さなお客様まゝ園児たち、池の鯉に夢中

天橋園の玄関前には池があり、十匹あまりの鯉と、巨大金魚(ー)が同居しています。のんびり、ゆったり泳ぐ姿は、見ているだけで癒されます。

今日は、近くの『みずほ保育園』の園児たちがお散歩の途中にちよつと休憩。鯉たちも、元気な来客にいつもよりがんばって泳い



興味津津。池を覗き込む園児たち
(撮影・太田博士)

でいたみたいでした。そんな様子を園児たちは池の周りからかぶりつきで、時折歓声をあげながらわいわいと追いかけていました。
(太田博士)

交流のひととき

「暁星高福祉部、ボランティアに来園」

聖ヨゼフ学園京都暁星高等学校(宮津市獅子崎)福祉部の生徒13名とともに天橋園で歌にゲームと楽しいひとときを過ごしました。

暁星高福祉部は、普通科福祉類系の生徒を中心に部員数13名。ベルマーク・古切手収集による施設への援助・支援や、行事へのボランティア参加。また土日を利用しての個別ボランティアなど、地域の幅広い福祉に積極的に取り組んでいます。



「金メダルもらった。嬉しかったよ」と生徒と歌う中田さん。真剣です。

(撮影・糸井淳子)

今回参加した生徒からは、「初めはとても不安で本当に楽しんでもらえるだろうか？」と緊張していましたが、利用者さんから話しかけてくれて、とても嬉しくホッとした気持ちになりました。

『茶摘み』や『ふるさと』など歌を歌っている時が一番楽しんでくれたと思います。是非また天橋園に行きたいと、別の生徒は「私も一緒になって楽しむことができました。利用者さんから『あなた達を見ていると昔を思い出します。今日はありがとう』と言われて今日は来て本当に良かった、良い体験ができたと思います。天橋園で得た事を次の体験でも生かしていけたらいいな、と思います」とお手紙が届きました。

当日参加した森田さんからは「歌は習ろたけど全部忘れて。人のあとに

ついて歌った。また教えに来てえよ」とのメッセージがありました。

『一緒に楽しむもち』大切ですね。このような機会、私たちにとても勉強になることしきりです。お互いに良い刺激になるよう、こんな機会を増やしていければと思います。(太田博士)



ゲームの合間、森田さんからも思わず笑みが。(撮影・糸井淳子)

海と星の見える丘公園へ 「久しぶりの外出」

5月22日(金)2階月コニットは宮津市里波見にある『丹後海と星の見える丘公園』へ行ってきました。外は今にも雨が降り出し

そんな空模様…。雨が降りませんようにと願いつつ、なぎさ苑号はみんなを乗せて出発!!

須津を抜けて岩滝く府中を通り宮津湾が見える「気持ちがいえなあく」の一言にみんな納得!!。「あの工務店はうちの近所だなあ」「この上にあがつていくと細い道になつてなあ」と即席のバスガイドさんも登場!養老の街を案内をしてもらいました。

「あの島は何て島かいな〜?」

その島を見ながら、「あの島って軍艦島だろ〜?」

「ちがうちがう、あれは武蔵と小次郎が戦った島やで」

「それは巖流島やん」

「そうかいな〜」

「さっきから何を言ってるんや〜」

『あれは冠島やん!!』

漫才のような会話に、みんな大笑い。

公園では、右に天橋立、

目の前に栗田半島と素晴らしい景色が見えました。

「おうええとこや〜」車いすからベンチに座りかえ、海を見ながらジュースで「カンパニー!」みんなで記念撮影しました。帰りはせっかくこまできたのだからと、伊根に寄り道。「また来たいな」「もおかえるんか」と楽しいドライブになりました。(東 育美)



景色を楽しみながらハイポーズ! (撮影・曾根田みや子)

秋が楽しみ！サツマイモ！



大きくなあれ、おいしくなあれ

「今日のおやつはおいしいサツマイモですよ！」とお知らせすると「ほおーごちそうやあ」とみんな笑顔満点。天橋の郷にはサツマイモ好きが多いようです。今年は秋に思う存分食べたいという想いから、自分たちでサツマイモを育てる事になりました。

と指導の声に変わり、苗を植える頃になるとその声は一層大きくなり「向きが違うで！」「そうそう上等にできてきた」とそれはそれは賑やかな植え付けになりました。

そしてその甲斐(?)もあり立派なサツマイモ畑が出来上がりました。「早く根付いてやー」と願いを込めて、水をたっぷりやりました。

それからというもの、毎日散歩と称してイソイソと育ち具合をみんなでチェックしているのです。皆さんの熱い期待に応えて、ただ今順調にた

宮津の車窓から

いいお天気の日曜日。少し足をのびして伊根へお出かけしてきました。舟屋は一階部分が海へ開口しており、船で直接住居内へ乗り入れることが出来る独特の造り。そ

くましく成育中です。

(水谷 暁)

えんどう収穫！

〜むくらんもんには食わさえんどう〜



いっぱいむきました (撮影・松本泰子)

昨年の秋なぎさ苑の畑に植えたえんどう豆が実りを迎えたので、豆ごはんを作って食べることにしました。

太陽が照りつける空の下きくえさん、はつえさんと麦わら帽子をかぶりいざ収穫。

畑では、プクプクと実った豆を見て「もう採り頃やな〜」「こんなに大きくなっているわ〜」「ようさん実が詰まっているな〜」「これなら美味しい豆ご飯が出来るわ」「これも！これも！慣れた手つきで、次々と豆を採って、ナイロン袋一杯に詰め込みました。

さっそくみんなで豆の皮むき。真剣に黙々と作業しながらも、大粒の豆に、「美味しそう」の声も。お米を研いで、塩で味付けをして豆をいれたら

炊飯器をスイッチオン！美味しい匂いが漂ってくる。「えんどうご飯の匂いがしてきたな〜」と、早くもおなかですいてきたみたい。あつという間に茶碗いっぱいのおえんどうご飯をペロリ。箸が進み、いつもより早く食事が終わると「これは美味しかったわ。丁度の味やった。あんたの愛情も入ってたわ」と笑顔で、手を合わせて、「ごちそうさま〜！皆さんの食べっぷりを見るかぎり、えんどうご飯作りは大成功。

来年も、良いえんどうが出来ておいしい豆ごはんが食べられますように。

(小西建裕)

の特徴から漁村では全国初、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けています。

ゆつたりした海の景色や花を眺めて、「いいね。。。綺麗だね」と感激の小林さん。散策中に干してあるワカメを見つけた須川さんは「ちよつと食べたいわあ」

鼻をくすぐる潮と春の香り、楽しんでもらえたかな？天橋園に帰ってからあくび交じりに「ちよつとくたびれた」と中田さん。それでも「またどこかに行く時は、連れにしてえよ」今度ははどこに行きましようか？

(太田博士)



伊根湾をバックに。右から中田さん、須川さん、泉さん (撮影・糸井淳子)

たみさんの一日

一日密着リポート

天橋の郷で生活されて3年の北仲さん（91歳）の充実した1日をご紹介します。したいと思います。

一日の始まりは朝ごはん。パンとコーヒードーナツとをゆつくりいただきます。食事が終わると毎日欠かさず図書コーナーで新聞を読み、テレビ番組をチェック。東京フレンドパークと野球の巨人戦は見逃しません。

2階から1階の玄関が見渡せるので、9時を過ぎるとデイサービスに来る友達を探します。それから部屋へ帰ってひと休み。

11時をまわるとお昼ご飯の準備開始。お味噌汁を作り、厨房から届いた出来立てのおかずをお皿に盛り付けて出来上がり。職員と一緒にご飯を食べながら「みんなと食べるご飯はやっぱりおいしい



スーパーにお買い物に行かれることも (撮影・水谷 暁)

わあ」「今度〇〇が食べたいわあ」と、旬のおいしいものをよくご存知でリクエストされるので、お

いしい黒豆の煮方やてんぷらの揚げ方等々：料理の会話がはずみます。ご飯の時間が終わると部屋に帰ってテレビを見ながらひと休み。

今日はおやつのもぎ団子作り。料理が得意な北仲さんは早速腕まくり。手馴れたもので、みんなが食べやすいように小さく丸めてお湯にポンツ！団子が浮いたら引き上げて、きな粉をまぶして出来上がり。職員の手伝う隙などありません。やっぱり自然に生えたよもぎを使って作る団子は

おいしい。おやつが終わると1階へ。デイの友達としゃべりをし、楽しいひと時を過ごします。友達が帰ると部屋でひと休み。

夕方になると夕食の準備。それぞれの茶碗や箸は誰のものか、全部頭に入っています。お母さんみたいに、おかずを盛り付け、みんな揃っていただきます。夕食後はホールでテレビを見ながら皆で団欒。7時になるとパジャマに着替えて部屋でゆつくり過ごします。これが北仲さんのある一日。趣味で月2回の絵手紙も習っています。時々お

極意の生け花

皆さんご覧ください！

この真剣な眼差しを!! 花しようぶを見事に生けているのは、岩本忠さん。

「ほー、立派な花だなあ」「ほー、きれいだなあ」

と花を愛でる岩本さん。葉の一枚一枚にまで気を



一鉢の緊張が伝わってきます (撮影・石川ひとみ)

配り、楽しそうに眺め、慎重に鉢を入れ、手を添

えて花器に生けています。

その集中する姿に、周囲にはちよつと近づきたい空気が流れていました。

岩本さんは、若いころから趣味は華道だったそうです。もう達人の域です。さすが昔とったきねづか。すばらしい腕前でした!

また与謝の園の玄関にすてきなお花を生けてくださ



岩本さんの作品 (撮影・石川ひとみ)

いね。

(石川ひとみ)



手際の良さはピカイチです。(撮影・水谷 暁)

孫さん達に絵手紙を送ります。描いた絵が宮津の町中に飾られたこともあります。天橋の郷では、今までの生活と変わらず、親しい人と楽しく、その人らしい生活を送れるような援助を心掛けています。

(水谷 暁)

平成20年度事業実績について

1. 福祉施設部門

平成20年度は、前年度に引き続き赤字の予算となる厳しいスタートとなりました。年央の諸物価高騰で大幅赤字決算を覚悟しましたが、夏以降の燃料費等の下落や計画以上の経営効率向上（利用者の利用率アップ、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染予防で混乱なし他）により、赤字幅は縮小（老健なぎさ苑との連結では黒字）となりました

介護サービスの質の向上活動では、「利用者本位」「利用者の尊厳」を第一に、法令遵守の精神と北星会三つの誓いを実行し、日夜努力してきました。

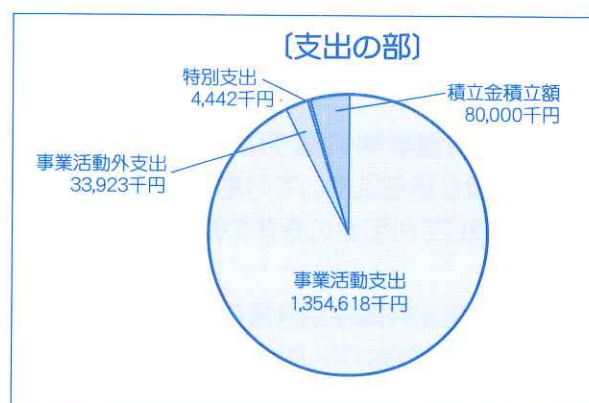
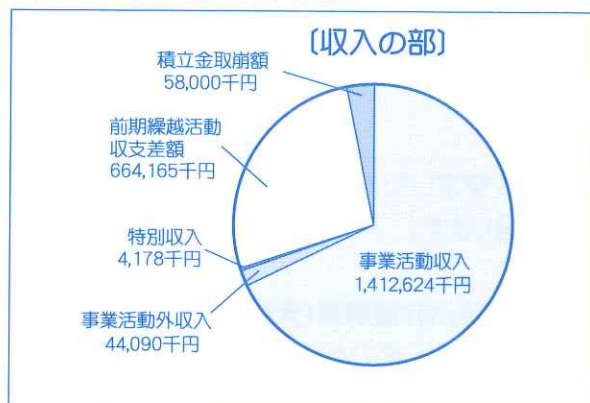
2. 老人保健施設部門

平成20年度は、感染症予防と空きベッド管理の徹底により、引き続き高い入所率が維持でき、ベッド稼働率99.1%と前年度を上回ることができました。また、求人難のため不足していた看護・介護職員、機能訓練士の補充もでき、安定した職員のもとでサービス向上を図ることができました。

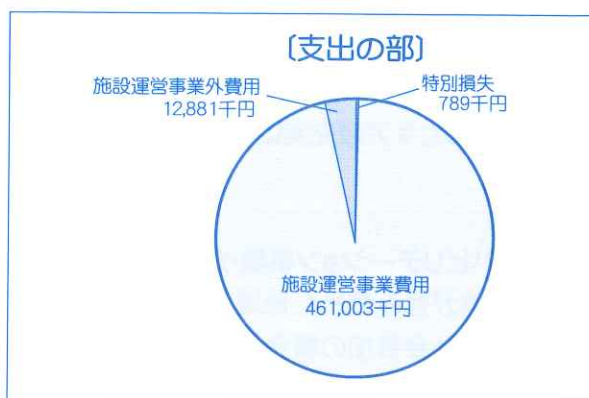
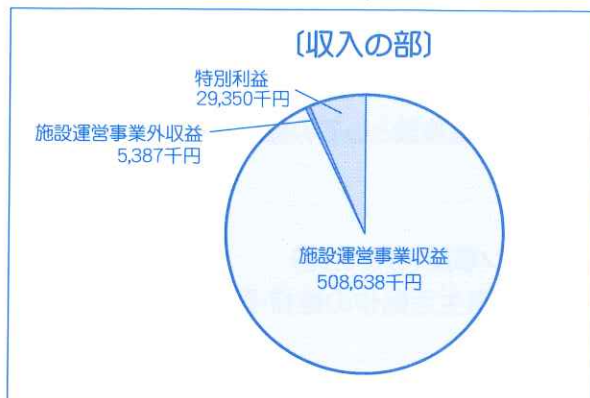
ユニットケアにつきましても各ユニットの担当者が計画を立てて、ドライブ・ショッピング・食事会等の多彩な行事に取り組んできました。

平成20年度決算状況について

福祉施設部門(19事業)



老人保健施設部門(4事業)



平成21年度事業計画について

■基本方針

平成21年度は厚生労働省の介護職員処遇改善対応の介護報酬改定に伴い、職員給与増額改定を実施し、引き続き収支の改善向上活動をはじめ、人材面の充実を行います。また介護給付加算対応、地域密着型事業活動検討等への取り組みなど、利用者の尊厳をモットーに、法人の安全・安心・持続した経営を展開します。

■福祉施設部門

1. 特別養護老人ホーム(天橋園・与謝の園・天橋の郷)

利用者一人ひとりの「ニーズ」と「意志」を尊重し、利用者の声を聞く姿勢を大切にし、寄り添うケアの実践を行います。

2. 居宅介護支援事業(天橋園・与謝の園・はまなす苑・なぎさ苑)

永年住みなれた地域や家庭で安心して生活ができるよう、望む暮らしの実現と自立支援に向けた適切なケアプランの作成と管理を行います。

3. 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業(天橋・与謝の園)

多様化する利用者のニーズに対応し、個々の訪問介護計画・介護予防訪問介護計画に基づく利用者本位のサービスを提供します。

4. 通所介護事業・介護予防通所介護事業(天橋園・はまなす苑・ハウゼ天橋・与謝の園・天橋の郷)

安定した在宅生活を継続できるよう、利用者の「意思」と家族の「想い」を尊重し、利用者ニーズに基づいた介護および介護予防サービスを提供します。

5. 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業(天橋園・与謝の園・天橋の郷)

利用者がその人らしく安心して在宅で生活できるよう、そのニーズに対応するとともに、「家庭と同じ暮らし」が提供できるようなサービスを実施していきます。

6. 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業(与謝の園)

利用者が居宅において可能な限りその有する能力に応じ、安定した生活を営むことができるよう、訪問入浴を通じて利用者の身体の清潔保持・心身機能の維持を図ります。

7. 認知症対応型共同生活介護事業・介護予防認知症対応型共同生活介護事業(天橋の家)

利用者が可能な限り残存機能を活かした、家庭的でぬくもりと安らぎのある生活の場を提供します。

■老人保健施設部門

1. 介護老人保健施設・短期入所療養介護事業・介護予防短期入所療養介護事業(なぎさ苑)

前年度に引き続き、利用者一人ひとりの適切なケアプランをもとに、より一層のサービス向上と在宅復帰を目指したケアの充実に関心掛け、地域に根ざした介護老人保健施設としての機能を発揮できるよう努めます。

2. 通所リハビリテーション事業・介護予防通所リハビリテーション事業(なぎさ苑)

利用者が住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう、日常生活動作の維持・回復をめざし、生活の質の向上や社会参加の機会を重視したサービスを提供します。